



活動予定カレンダー

TKC SCHEDULE

平成28年 9月			平成28年 10月			平成28年 11月		
日	曜	活動予定	日	曜	活動予定	日	曜	活動予定
1	木		1	土		1	火	共済制度推進委員会 特別セミナー
2	金	租税判例研究会	2	日		2	水	巡回監査士試験
3	土		3	月	現場力養成講座	3	木	文化の日
4	日		4	火	正副会長会	4	金	巡回監査士プレミアム研修／現場力養成講座 広報委員会
5	月	現場力養成講座	5	水	札幌東西支部合同研修会	5	土	
6	火	高木宏寿議員との懇談会 資産活用委員会大和部会推進会議	6	木	巡回監査士補研修	6	日	
7	水	企業防衛正副委員長会議	7	金	巡回監査士補研修	7	月	
8	木	巡回監査士補研修 苫小牧信金トップ対談／苫小牧支部総会	8	土		8	火	正副会長会／顧問・相談役・参与会
9	金	巡回監査士補研修 広報委員会／帯広支部総会	9	日		9	水	巡回監査士補試験
10	土		10	月	体育の日	10	木	
11	日		11	火		11	金	
12	月	正副会長会	12	水	役員選考委員会／理事会	12	土	
13	火		13	木	資産対策研究会	13	日	
14	水	札幌東支部総会／札幌西支部総会 北海道会定期総会(京王プラザ)	14	金		14	月	
15	木		15	土		15	火	理事会
16	金		16	日		16	水	
17	土		17	月		17	木	NMSフォーラム2016in東京
18	日		18	火		18	金	NMSフォーラム2016in東京
19	月	敬老の日	19	水		19	土	
20	火	委員会合同夕食会	20	木	巡回監査士補研修	20	日	
21	水	秋季大学実行委員会／各委員会	21	金	巡回監査士補研修 広報委員会編集会議	21	月	
22	木	秋季大学親睦ゴルフ大会 秋分の日	22	土		22	火	
23	金		23	日		23	水	勤労感謝の日
24	土		24	月		24	木	
25	日		25	火		25	金	
26	月	正副会長会	26	水	NMS委員会	26	土	
27	火		27	木		27	日	
28	水		28	金		28	月	
29	木	資産活用委員会積水部会推進会議・研修会	29	土		29	火	
30	金		30	日		30	水	
			31	月				

※主な行事を掲載しています。日程が変更となることもありますので個別案内をご確認ください。



Chance, Change and Challenge

TKC 北海道



TKC HOKKAIDO

2016.9.26 第214号

TKC北海道会広報委員会

札幌市中央区北3条西3丁目1札幌北三条ビル4階
TEL(011)222-8505 FAX(011)222-8622

発行責任者／加藤恵一郎 制作／
編集責任者／山谷 謙太 株式会社メディアプラネット

TOPICS

金融機関トップ会談...P02

TKC九州会広報委員会視察報告...P03

資産対策研究会活動のご紹介...P06

定例研究会の開催(資産税の研修)／TKC財産承継アドバイザー制度
「TKC全国会資産対策特別研修会」の開催
「相続対策セミナー用標準レジュメ」の提供とオンデマンド研修
TKC全国会資産対策研究会ホームページ

平成27年6月～平成28年5月の三共済の実績と
小規模企業共済制度創設50周年記念事業の結果
～北海道会初!!! 三共済全目標達成～...P14

会員訪問...P22

岩見沢市で事務所を開業されている谷勤会員を訪問しました

eひと・eはなし

- 旭川支部／薄井 タカ子
- 札幌西支部／市田 勝
- 札幌西支部／林 俊一
- 札幌西支部／近藤 勝美



▲踊る加藤会長と西支部長たち



▲小樽支部総会と潮まつり

金融機関トップ会談

6月9日(木)釧路信用金庫を皮切りに、7月には帯広信用金庫、札幌信用金庫、北洋銀行、北海道銀行と8月12日(金)には北門信用金庫と覚書締結金融機関とのトップ会談が行われました。会談では、TKC会計事務所が、信頼性の高い決算書を提供していること、それは、翌月次巡回監査によって実現され、記帳適時性証明書によって確認できることを、理事長ほか役員の方に説明しました。

「FinTechへの取り組み」については、具体的な取り



北海道銀行にて



札幌信用金庫にて



北洋銀行にて



北門信用金庫にて



釧路信用金庫



帯広信用金庫

組みはこれからになると思われますが、情報収集のため説明会にご参加いただくなど準備をさせていただいておりました。各金融機関ともに、利用のためのシステム環境の整備が課題であるとともに、まずは『決算書等提供サービス』を利用したいと前向きにご検討されている様でした。TKC会計事務所が監査した月次試算表がモニタリングサービスとして受け取れる仕組みが時間短縮になると好意的に受け取っていただきましたが、このサービスを承諾する取引先がどれくらいになるかというご心配の声もありました。

今後の会員の取り組みが、金融機関の信頼に寄与すると感じられました。

(中小企業支援委員会 委員長 小川 裕也)

TKC北海道会旭川支部会員向け TKC実践事務所見学会開催

6月9日(木)、税理士法人加藤会計事務所において、TKC北海道会旭川支部主催の事務所見学会を行いました。

当日は、北海道四季劇場の向かいにあるプレジデント札幌ビル4階の加藤会計事務所へ、旭川支部薄井タカ子支部長はじめ7名の会員で訪問させていただきました。

見学会は15時より、代表社員の加藤恵一郎会長から「これからの事務所経営に求められるものは何か?」と題したレジュメを基に、環境の変化と危機感・われわれの打ち手は?についてご説明いただき、加藤会計事務所の取り組みについてご紹介いただきました。

引き続き、加藤会計事務所の松本直子税理士より、自計化推進・継続MASの取り組みについて、ご自身の経験談を赤裸々にお話しいただきました。



その後、事務所の中を見学させていただきましたが、見事にペーパーレス化されていて、職員の皆様の机上にもほとんど書類がなく、自分の事務所との違いを思い知らされました。事務所がすばらしく整理されていて、感心させられることしきりでした。

見学会終了後、懇親会の会場に移りましたが、旭川支部の今後の支部例会・支部総会に向けての打ち合わせを行い、懇親会となりました。懇親会では、たいへんお忙しい中、加藤会長、田中裕之副会長、斎藤雅昭副会長、小中昌幸システム委員長にもお越しいただき、有意義な時間を過ごさせていただきました。

今後の事務所経営に役立たせていただきたいと思います。ありがとうございます。(旭川支部 舟橋 馨)

CONTENTS

●金融機関トップ会談	02	●倒産防止共済 推進状況	16
●TKC北海道会旭川支部会員向け TKC実践事務所見学会開催	03	●中退共制度 推進状況	17
●TKC九州会広報委員会視察報告	03	●小規模企業共済制度創設50周年記念事業	17
●九州会広報委員会との懇親会	05	TKC北海道会 表彰会員	
●リスマネ指導は自利利他の実践です	05	●平成28年 書面添付実践件数	18
●資産対策研究会活動のご紹介	06	●支部例会・研修会だより	20
●推進の会・推進友の会代表者によるディスカッション開催報告	07	●会員訪問	22
●TKC本社見学	09	●リレーエッセイ「時・空・人」	25
●第43回全国役員大会	10	●委員長やまの取調室	26
●平成28年度重要テーマ研修	11	●新入会員の紹介	27
●平成28年新入職員・初級職員研修が終了しました	11	●編集後記	27
●平成28年巡回監査士(補)研修の開催	12		
●ニューメンバーフォローセミナー「高収益体制と組織構築」を聴講して	12		
●平成27年6月～平成28年5月の三共済の実績と	14		
小規模企業共済制度創設50周年記念事業の結果			
～北海道会初!!! 三共済全目標達成～			
●小規模企業共済 推進状況	15		

eひと・eはなし

●旭川支部／薄井タカ子	05
●札幌西支部／市田 勝	13
●札幌西支部／林 俊一	14
●札幌西支部／近藤 勝美	27

TKC九州会広報委員会視察報告

平成28年7月1日にTKC北海道会広報委員会は、山谷謙太委員長をはじめとして総勢8名で、TKC九州会広報委員会は野田聡委員長をはじめとする4名のご協力のもと編集会議の視察として参加させていただきました。

第一部では、TKC九州会広報委員会の編集会議を見学させていただきました。今回の編集会議は、TKC九州会広報委員会の500号作成の編集会議でした。500号作成に関しては、TKCの入会歴の長い会員と

短い会員を集めてそれぞれの別室で座談会を行うという、なかなか趣向を凝らした座談会でありました。その座談会は、①税理士になったきっかけ、またはTKC入会のきっかけ②飯塚毅全国会初代会長について思うこと③ズバリTKCに入会して良かった点、期待はずれだった点④TKC九州会の平成28～29年度の活動テーマ「とことん書面添付」⑤今後のTKCに期待することをテーマとしました。われわれには、その座談会の内容や、組み立て方の説明をしてくれました。その座談会

に関しては、ベテランの会員に関しては別の話題になることが多く、新しい先生は真面目な話が多かったみたいです。同じ内容でも入会歴の違う会員に質問すると相当違う返答になるということが分かりました。TKC北海道会広報委員会でもこのような試みを行ってみたいと思いました。

次に、九州会独自の割増会費の内容について聞くことができました。その内容は均等会費が年額70,000円でありその他に応能会費があるというものでした。応能会費は年額20,000円が限度ですが、広報委員会の委員も制度があることを知らないくらい負担感のないものでした。

その次には、TKC九州会広報委員会で行っているワクワクプロジェクトについてのお話を聞くことができました。主にビジネスマッチングをするためのプロジェクトであるワクワクプロジェクトのホームページでは外向けに発信をするために行っており、会員拡大も合わせて行っています。

ワクワクプロジェクトの中では、別のプロジェクトを立ちあげて行っている委員会があります。九州会独自で作っているもので2、3年前に立ちあげた委員会であり、その主な内容は、年に2回ぐらい物産展を行っています。そのうち1回は、夏期大学を行っている9月に行っているもので、ゴルフ大会を行っています。従来は、夏期大学の3日目に研修会を行っていましたが、最近では企業家の方の講演を聞いたり、催しを行います。例としましては、基本的にはTKC会員を呼び、東京に事業を成功した方を呼んで、会員および会員の顧問先にその講演を聞いていただいています。

その次にはTKC九州会独自システムによるオンデマンド研修の詳細についてのお話を聞くことができました。その内容は、同じテーマで違う支部の会員が説明しているのを視聴する事ができます。北海道会では隣の支部の研修を聞くことができませんが、九州会は録画をしていて隣の支部の研修を視聴する事ができます。録画の方法に関しては、予算をあまりかけられないのですが、プロに依頼しています。研修は税理士会の認定研修でもあります。音声もはっきり聞こえます。これらの研修に関してはProFITで見ることが出来ます。われわれは全国会の研修しか視聴することができませんが、九州会に関しては、地域会のポータルから入って行って、九州会のポータル、掲示板にオンデマンド、自分のところ

を見逃していても見る事ができます。さらに研修時間に加算することもできます。また、予算については研修委員会で確保しています。プロのカメラマンが撮影して、掲示板にインターネットのURLとユーザー名とパスワードを入力することで視聴することができます。これらのオンデマンド研修につきましては、特に北海道会に導入したいと感じました。

最後に、TKC九州会広報委員会についての課題等を伺いました。広報委員の就任について、文章が苦手な方が多く、みんなが就任を受けてくれるのかという事については、色々と交流をつかもうとしている会員もいるがそうでない会員もいて、難しいところであります。九州会も小さい支部の会員は知っている方だけで回っている実情があります。そのような事情があり、広報委員会はフットワークが重要なので、60歳前後までの先生で対応しています。

九州会は、広報委員会の方が記事を書くことがないように色々な会員にお願いしています。年間予算450万円で原稿の謝礼が2千円から3千円程度で発行部数900部であることを確認しました。北海道会に関しては広報委員会が記事を書くことが多いです。

広報委員会としては他の支部がどのような例会を行っているのかがわからないのが悩みです。

様々な質問をした後、第二部では実際の原稿を確認して校正をしました。

原稿だけでは分からない細かい部分に関しては、実際に録音したもので文章が繋がるように校正をしました。

今回は、他の地域会の広報委員会の編集会議に参加して、とても勉強になりました。今回の九州会で学んだことを活かして行きたいです。

また、余談にはなりますが7月とはいえ北海道は涼しい日が続きましたので、九州はとても暑かったです。

(苫小牧支部 小林 史郎)



九州会広報委員会との懇親会

九州会の広報委員会に出席させていただいた後、九州会の野田聡広報委員長と事務局員3名と共に、もつ鍋料理店にて懇親会が開催されました。九州の地元の人は暑い夏でももつ鍋を食べると思っていたが、聞いたところによると地元の人はもつ鍋や博多ラーメンはほとんど食べないとのことでした。北海道という石狩鍋のような存在なのではないでしょうか。

懇親会とその後の二次会は、博多美人の事務局員さん達のおかげで和やかに進み、北海道会ではどのように広報委員会を進めているかをお伝えしたり、九州会広報委員会の悩みを聞いたり、有意義な情報

交換が行われました。親睦を深める席で他地域会の運営の仕方など聞くことができ、大変参考になりましたので、今後の広報委員会の運営に活かしていきたいと思います。(札幌西支部 河村 聡子)



eひと・eはなし 「クレセレントアカデミーを終えて」



旭川支部
薄井 タカ子
Takako Usui

「東京にいる娘に会える～」…最初の動機は不純とは言え、1年間勉強して、修了証をいただきました。内容は、まず憲法から始まったので、レポートという宿題もかなり苦痛でした。終わりの方になると実務に直結した内容になり、今までの自分の仕事自体、判例を調べながら法律の裏付けのもとにやってきたつもりでしたが、それはつもりであって、法的思考回路から多少ずれていたことをまざまざと思い知らされました。

行って良かった、本当にそう思います。そして分ってはいたけれども、私たちの仕事はずっと勉強なんだな…と言うのが偽らざる感想です。

開業して28年、こんなに長い開業歴の生徒は居なかったと思います。でも皆さん、勉強はしていないと頭が錆びるんです。

古い先生たちも、行ったほうがいいですよ(笑)

お客様の為に!

リスマネ指導は自利利他の実践です

去る7月11日(月)17時～19時においてリスマネ情報交換会が開催されました。22名の会員・職員および提携三損保の皆様のご参加により、札幌市街を一望できる北洋大通センタービル17F東京海上日動火災保険(株)17B会議室において行われました。交換会の後は、場所をビッグジョッキに移して、おいしいビー

ルを飲みながらなごやかに情報交換が行われました。

本間貴久担当副会長の開会挨拶のあと、私から、リスクマネジメント指導のポイントについての説明を行い、提携三損保からリスマネ指導についての情報提供等が行われました。

リスクマネジメント指導実践マニュアルを利用して、リスク指導の必要性および協働代理店方式に関する説明が行われました。

近年、地震の頻発、ゲリラ豪雨等の頻発による自然災害の発生や、様々な分野での高額賠償事例の多発等により、経営者のリスクに対する意識は年々高まっています。しかしながら、中小零細企業においては、人材面および資金面においてもリスクマネジメントまでは手が回らないのが現状です。そんななか、われわれTKC会計人は毎月巡回監査を行っており、お客様のリスクの現状を詳細に把握できる立場にいますので、リスクマネジメントに関する経営助言を行うにはまさに打ってつけの存在です。そして、それはお客様から、そして社会からも期待されています。ぜひ代理店登録をしてリスク指導を行っていただきますよう、よろしくお願いいたします。

提携損保会社からは、協働代理店方式のスキームの紹介、挙績基準の達成方法等具体的な事例紹介等が行われました。特に挙績基準100万円のバーのクリアが不安で代理店登録をためらっておられる会員が多いようですが、協働プロ代理店とうまく連携すれば非

常にたやすくそれがクリアできる事例等の発表があり、大変参考になったとの感想がありました。

また出席者から、損保会社およびプロ代理店のフォロー体制等についての不満等の意見もお聞きすることができました。

リスク指導は、われわれ会員、プロ代理店そして提携損保会社が三位一体となって推進していかなければうまく行うことができません。今後も情報交換会等を継続的に開催したいと考えておりますので、皆様よりご指導いただければ幸いです。

リスク指導は、生保指導のような派手さはないですが、お客様を防衛するために必要不可欠のもので、ぜひ自利利他の実践としてリスク指導をしていただくことを心より祈念しております。

リスクマネジメント制度推進委員会 委員長 砂原 政広



資産対策研究会活動のご紹介

TKC全国会資産対策研究会では、資産税とその周辺業務を研究し、資産税事案を的確・円滑に処理する上で必要な知識や判断力を養うための共同研究を行っています。具体的な活動は下記の通りです。

1. 定例研究会の開催(資産税の研修)

毎年、全国統一の研究テーマにより11月から10月の1年間で2ヶ月に1回、全6回の研修を行っています。



北海道会では札幌会場にて偶数月に開催しています。本年度(平成27年11月～平成28年10月)は「相続税の申告と実務対応」を研修テーマとして取り組んでいます。メインテキストとして本年の飯塚毅賞を受賞した「相続税の申告と書面添付—安心の相続を実現するために—」(TKC出版)を使用し研修を行っています。

その他「今月の質問」として税務研究所に寄せられる質問事項から選別したものを、毎回3テーマほど題

材として研修を行っています。

講師は税務研究所の特別研究員の先生に毎回

解説をしていただき、参加者からの質問や討議の時間も設け意見交換を行っています。

2. TKC財産承継アドバイザー制度

当研究会が取り組む資産対策支援業務について、相続税関連業務から遺産整理業務へ範囲を拡大してサービスの充実を図るため、三菱UFJ信託銀行との提

携により「TKC財産承継アドバイザー制度」として登録制度を設けています。

3. 「TKC全国会資産対策特別研修会」の開催

相続・資産対策の今日的な課題について、年2回から3回の特別研修会を開催しています。本年の秋期特

別研修会は12月に「名義預金等の実務対応」をテーマに行う予定です。

4. 「相続対策セミナー用標準レジュメ」の提供とオンデマンド研修

当研究会会員が、①相続対策セミナー受託、②事務所主催のセミナー開催、③顧客への説明資料作成などで活用することを目的として、「相続対策セミナー用

標準レジュメ」を当研究会会員に無償提供しており、税制改正への対応、統計データの更新も随時行っております。

5. TKC全国会資産対策研究会ホームページ

当研究会のホームページにより当研究会会員の活動を広く社会に紹介し、TKC会員の関与先拡大を図ります。

昨年からの相続税の基礎控除の引き下げ等が行われ、相続税申告件数の増加とともに申告業務の受注ならびに事前の相続対策の相談等、資産税業務を的確・円滑に処理する上で必要な知識と判断力が今ま

で以上に必要不可欠になってくるものと思われます。

関与先の企業経営者や不動産オーナーが、将来の相続や事業承継に安心して備えていただけるための良き相談相手となっていくことが必要かと考えます。

ぜひこの機会に資産対策研究会に入会してみたいかがでしょうか。

(資産対策研究会幹事 佐藤 伸泰)

推進の会・推進友の会代表者による ディスカッション開催報告

平成28年6月27日、札幌北三条ビル(大同生命会議室)にて「TKC北海道会企業防衛制度推進委員会」および「各支部推進の会・友の会代表者によるディスカッション」が共同開催されました。

企業防衛制度推進委員会より11名、各支部代表幹事より30名、合計41名の参加で開催されました。ディスカッションでは、各支部の3ヵ年計画の実施状況の確認と今後の具体的な活動について活発な議論や意見交換が行われました。また会終了後にはホテルモントレー札幌にて懇親会が開催され、こちらも大変盛り上がりしました。

今回は、当日のディスカッションで議論された内容について、代表の3支部分を発表いたします。

平成27年度に策定した札幌東・西支部の3ヵ年計画については、以下の2点が大きなテーマとして掲げられました。

■円滑な引継ぎによる世代交代

企業防衛の裾野を広げるという意味でも、若い世代の幹事を増員し、活動の中心メンバーになっていただくことが今後の発展につながるものと考えています。平成28年7月以降の役員改選等も、その趣旨を踏まえて行われ、今回私が会長に就任させていただくこととなりました。

■女性幹事の誕生

これまでの幹事の構成メンバーを振り返ると、女性幹事が存在していないという歴史があります。これを踏まえ中長期的に女性幹事の誕生と増員を目指していくことをテーマに掲げております。

また推進の会の具体的な取組みとして、以下6項目を計画のうえ活動してまいりました。

- ①夏季での幹事会懇親会開催
- ②ジャスマックプラザホテルにて推進責任者研修会
- ③KIBOU塾の開催
- ④他支部幹事会との交流

数年間にわたり小樽支部として取り組んできた「推進会議開催事務所の拡大」については一定の成果を挙げることができました。これを踏まえて次のステップに進むことが必要であるとの議論が友の会幹事会でも聞かれるようになりました。

そこで平成27年度に策定した3ヵ年計画についての主要な取組み事項については質の高い推進会議を開催することを目的に、「付保率向上のための推進会議の充実」を大きなテーマとして掲げました。

平成27年度は、支部内の3事務所（中央会計・澤田会計・椎野会計）に協力いただき、実際の推進会議をDVDにまとめたものを作成することとなりました。作成したDVDは、平成27年10月の友の会研修会で上映しました。参加者からは、普段は見ることのできない他事務所の実際の推進会議の様子が確認できたと大変好評でした。

⑤推進の会研修会の開催（年2回）

⑥推進責任者を対象とした忘年会の開催

いずれの取組みも幹事会内での交流・情報交換等を活発に行うこと、企業防衛に積極的に取り組む職員を支部内で拡大することを主目的として計画いたしました。平成27年度は、①②⑤につきましては計画通り実施することができましたが、③④⑥につきましては実施することができませんでした。

それを踏まえ、昨年度策定の3ヵ年計画を一部修正・見直しのうえ、今年度の計画を策定いたしました。

具体的な修正点につきましては、

- ・KIBOU塾を確実に開催すること（平成28年11月予定）
- ・他支部の推進の会の研修会に参加し、交流を図ること（現在企画・調整中）
- ・幹事会へ参加する事務所数を拡大すること（参加率の拡大）

以上の計画の修正のもと、平成28年度の活動を幹事一同力を合わせて、着実に遂行していきたいと考えております。なお、KIBOU塾開催の際には札幌東・西支部の皆様のご参加をお待ちしております。

現状、小樽支部では友の会がうまく機能しており、各事務所の成功体験を支部内で共有できる体制ができてきたと考えております。今後の課題については、推進会議等がまだ実践できていない事務所への中長期的なフォローを実施していくことが肝要であると考えています。また、時代にあった保険指導へと変化をさせていくことも非常に大事であると考えているため、法人へのトータル提案とあわせて経営者個人への提案を進めていくこともポイントになると考えています。

その点を踏まえまして、平成28年度は友の会の研修会で生活防衛（ライフプランニング）をテーマに研修を実施することを具体的取組みとして、3ヵ年計画に追加いたしました。

これからも、小樽支部の強みの一つである「企業防衛推進友の会」が主体的に取り組んでいくことで支部を企業防衛から盛り上げていければと考えています。

平成27年度に、釧路支部では「PDCAサイクルを9事務所で実践する」ということをテーマに3ヵ年計画を策定しました。

その具体的な取組みとして、以下の計画を策定いたしました。

- ・推進責任者研修会の開催（他支部より講師を招く）
- ・低稼働事務所への具体的な目標設定
- ・友の会幹事メンバーを低稼働事務所より増員
- ・個人事業主・個人への推進を標準活動化

この計画に基づき、平成27年度は年2回開催の推進責任者研修会では他支部より講師を招き、事例発表や情報交換を行い大変盛り上がりました。

また低稼働事務所の目標設定や友の会幹事の増員につきましては、実現に至っておらず今後の中長期的な課題として残っております。

これを踏まえ、平成27年度に策定した3ヵ年計画の具体的な取組みとして友の会幹事の増員を第一目標とし、実働事務所の増加・職員のライセンス取得の推進を主に計画を修正し、標準保障額の算定・設計書の策定等実働する人員の増加を支部として図っていくことを目標として設定します。

今後も友の会の活動を通して、支部の企業防衛がより活性化していくように取り組んでいきたいと考えています。

TKC本社見学

TISC見学

7月13日（水）TISCを見たことがない北海道会の理事たちと見学に行ってきました。やはり「百聞は一見にしかず」で、セキュリティは万全で、免震装置（地震対策）のゴムは思っていたより巨大で、雷対策もバッチリでした。

本当は一緒だった宮下直樹会員と並べて写真を撮り、大きさをお伝えしたかったのですが、館内は写真撮影禁止でした。

これを見ればFX4レンタル料が高いとは言わせないという感じでした。今度事務所のスタッフにも見せてあげたいと思いました。会員と顧問先と一緒に見学に来

ることもあるとのことでした。

写真は、外に出てからの集合写真です。どこへ行ったのかよくわからないと思いますが…。



飯塚毅記念館

TISC見学の後、本社に併設している飯塚毅記念館に行きました。

まずは、蔵書の数がすごい。シャープ勧告の本もありました。すべての本に精読したと思われるメモがありました。

そして飯塚事件の報道の記録があり、当時の事件の状況がわかりました。

改めてすごい人だったのだと思いました。生前お会いしたことがないのが残念です。

そして隣にIT博物館があり、昔のシステムが置いて
ました。薄井タカ子会員が当時使っていたものもあった
ようで懐かしんでました。

プロのカメラマンがいて、集合写真を撮ってくれました。



飯塚毅記念館

最後に飯塚毅博士の住居跡「水月庵」(鹿沼市より
移設復元したもの)を見学しました。

(札幌西支部 山谷 謙太)



水月庵

第43回全国役員大会

7月14日(木)TKC創業50周年記念式典・基調講
演が取り行われました。DATEV創業者のDr. Heinz
SebigerさんからのビデオメッセージやDATEVから多く
の役員社員が駆けつけてきてくれたことに、DATEVと
の絆と50周年という区切りがいかに偉大なことかを感じ
させました。

また、基調講演は、DATEV前社長 Prof. Dieter
Kempfさんからでしたが、ドイツ語の講演を同時通訳で
聞くという初めての体験でした。

特にローマ法王選出時の写真は衝撃的でした。
2005年と2013年の写真の比較で時代の流れの速
さに驚くとともに、置いていかれないようにFinTech
サービスもしていかなければと思いました。

そしてレセプションですが、最後に「ゆず」が登場。アジ
アツアーの真っ最中とのことでしたが、お祝いに駆けつけ
てくれて、「夏色」と「栄光の架け橋」を歌ってくれました。

会員との関わりできてくれたようですが、さすがTKC
の会員です。そしてさすが東証1部の上場企業とを感じる
レセプションでした。

レセプションにて来賓の片山さつき参議院議員が、
一生懸命に会員と名刺交換をしていたのも印象的で
した。

7月15日(金)は、野中郁次郎一橋大学名誉教授

の知的機動力を練磨する全員経営の話でした。暗黙
知などとてもとても深いお話でした。

そして栗飯原一雄全国会会長の熱いメッセージや角
一幸TKC社長からのTKC報告などで閉会いたしました。

(札幌西支部 山谷 謙太)



平成28年度重要テーマ研修

6月2日ホテルモントレーデルホフ札幌において、
～マイナンバー・クラウド会計・FinTech～「これらの
変化に対応して、危機を突破する事務所経営戦略と
は」という研修テーマでした。

はじめに、TKC北海道会加藤恵一郎会長より本研
修の目的について、FinTechなどの大きな外的変化
の激流にTKC会員事務所が飲み込まれず生き残る
ための事務所総合力の向上はまず「自計化」にあり!と
の強い激励があり、TKC会員の根本的な部分の見直
しの重要性についての講演がありました。これを受け
全国会で活躍されている2名の先生の自計化を中心
とした事例講演、その後に三菱東京UFJ銀行 TKC
事業室 和田吉生副室長からTKC会員事務所の関
与先企業限定の商品「極め」のご紹介、そして小中シ
ステム委員長とTKC北海道SCGサービスセンター 前
田稔センター長よりシステムの案内といった四部構成
になっており、4時間30分の濃密な研修内容でした。

TKC関東信越会 埼玉中央支部よりいらした橋本
真一会員は、【自計化による顧客サービスの強化】と
いう内容で、ご講演いただきました。ご自身の実家の
幼少期に過ごした実家の子供部屋にて関与先“0”
で開業されてから、わずか十年で浦和の駅前の一等
地(42坪)の新築ビルに移転するまでの成功体験を
惜しみなく話していただきました。特に事務所顧客の
黒字企業の割合が約60%との数字より黒字化支援
が良く機能している事務所だと感じました。

TKC東京中央会 港支部の税理士法人ハートフ
ル会計事務所の打田高行会員には、【事務所総合
力の強化による月次サービスの向上】というテーマで
お話をいただきました。打田会員ご自身もとてもエネル
ギッシュで、「人の三倍努力する」という言葉がにじみ
出ているような勢いのある先生でした。実務経験わず
か数年で先代が築いた事務所を承継するには大変
な苦労があったと思いますが、まるでそれを感じさせな
いほど前向きで、TKC会員事務所であることの誇りを
感じさせる内容でした。

お二人の会員の事務所は積極的に自計化を推進し
ている事務所であり、月次巡回監査率も90%を超えて
いることから、共通して言えるのはTKCをフル活用するこ
とにより、月次のサービスの付加価値を高めることに主
眼をおいているということでした。まさにFinTechをはじめ
とした【激流】を生き残る工夫をされており、TKC会員に
とって大変参考になる話をいただきました。

(札幌東支部 中田 浩貴)



平成28年新入職員・初級職員研修が終了しました

新入職員研修と初級職員研修を、昨年と同様に
北海道NTTセミナーセンタで6月7日から10日までの
4日間で開催いたしました。

研修の狙いは、社会人としてまたTKC会計事務所

の職員として最低限必要なマナーおよび態度や知
識・教養を修得すること、業務を遂行するのに必要な
税法の知識を習得すること、巡回監査の意義と必要
性を理解し、必要最低限の指示と指導の下に、簡単

な内容の関与先の巡回監査を担当することができること、財務三表および個人財務システム等の帳表が理解できることなど、相当ハードな研修企画でしたが、講師の先生方の「是非これだけは理解してほしい」という願いを込めた熱心な指導により、受講者も大変参考になったと思います。

なお参加者41名で、このうち34名が最終日の初級認定試験を受験し、全員が合格しました。

(TKC北海道研修所 副会長/所長 斎藤雅昭)



平成28年巡回監査士〈補〉研修 (旧:中級職員研修)の開催

巡回監査士〈補〉研修(旧:中級職員研修)を6月16日から10月21日までの期間札幌で開催いたします。

TKC全国会中央研修所では、平成28年度より「巡回監査士補」資格を新設しました。この資格は、従来の中級職員実務試験合格者にあたるものですが、「巡回監査士」資格と同様に公益社団法人 全日本能率連盟の登録資格となりました。

対象者はTKC会員事務所の職員で、TKC財務会計システムを現に活用し、これから活用しようとする者、またはTKC初級研修受講後、巡回監査を経験したことがある者、過去に中級・上級試験に合格してい

るが、知識の再確認や復習をしたい者としています。

巡回監査士〈補〉の講師は“税務情報システム研修会”の現・前講師を中心にご担当いただきましたので、最新の税法・会計情報・TKCシステムについてのお話を聴くことができます。したがって、過去に中級試験や上級試験に合格している職員さんであっても最新知識習得のためには再受講も必要です。特に昨年の“税務情報システム研修”に未参加の事務所におかれては、ぜひ受講していただければ、と思います。

(TKC北海道研修所 副会長/所長 斎藤 雅昭)

ニューメンバーズフォローセミナー 「高収益体制と組織構築」を聴講して

6月16日、ホテルモントレ札幌において、「高収益体制と組織構築」をテーマとしたセミナーが開催されました。本セミナーは、ニューメンバーズサービス委員会が主催し、ニューメンバーズ会員に加えて、未入会の先生方にもご参加いただいております。講師をお引き受けいただいたお二人の先生から大変勉強になるお話を伺い、参加された皆様も熱心に聴講されていました。

第一部では、東京より税理士法人ガイア代表の野口省吾会員にお越しいただき、「高収益体制の構築」をテーマにご講演いただきました。野口会員の事務所では、細かで質の高いサービスを積み重ねてお客様にご提供することにより、事務所の高収益体制を実現されているとのことでした。

また、事務所全体でそれを実現するために、継続M

ASを徹底活用するなどの事務所体制の構築方法を惜しみなくお話しいただきました。質の高いサービスの基本は巡回監査であること、さらに、関与先に対して付加価値を提供するために、継続MASを全関与先で徹底活用しているとのことですが、それを組織全体として実践していこうという野口会員の強い信念とリーダーシップに大変感銘を受け、強く印象に残りました。

開業から日が浅いニューメンバーズ会員にとって、「事務所収益」は特に大きな悩みの一つです。私も日々試行錯誤を繰り返す毎日です。私を含めた聴講者の会員には大変刺激になったのではないのでしょうか。

第二部では、わが北海道会の千葉寛樹会員に「会計事務所の組織構築」をテーマにご講演いただきました。千葉会員には開業した当初の頃のお話から、現在の事務所を構築するまでのお話までご講演いただいております。税理士会、TKC全国会などで数々の役職を歴任された千葉会員の言葉には、一つ一つに深みと重みがありました。千葉会員は継続MASシステムの初代開発メンバーとして参画されていたとのことで、「継続MAS」というシステム名の名付け親であるとの逸話もご披露されておりました。その経歴に驚かされましたし、われわれが現在当たり前のように便利なシステムを使えるのも、千葉会員のような先達の会員方のおかげであると改めて感じております。

また千葉会員は、ご講演の中でわれわれ聴講者に対し、税理士を「生業」とするのか、「事業」とするのかを問われ、事業にするのであれば人を採用して組織を作るべき、所長はトップとしてチェックリストの整備・管理などの組織体制の構築に尽力すべし、と教えていただきました。

その他にも多くの金言を授けていただき、私もこれからの事務所経営のヒントとしていきたいと考えております。

最後に、千葉会員、野口会員のお二人にはご多忙のところお時間を割いて講師を引き受けていただいただけではなく、セミナー後の懇親会にもお付き合いただき、その懇親会の場でも質疑応答に快く応じていただきました。末文ではございますが、改めて心より感謝いたします。本当にありがとうございました。

(札幌西支部 八森 恵一)



eひと・eはなし e「四十にして惑わず」



札幌西支部

市田 勝
Masaru Ichida

「吾十有五にして学に志す。三十にして立つ。四十にして惑わず。五十にして天命を知る。六十にして耳順う。七十にして心の欲する所に従えども、矩を踰えず」

ご存知の方も多いと思いますが、『論語』の章句で、晩年の孔子が自分の人生を振り返って言った言葉とされ、世界一短い、見事な自叙伝と言われております。孔子は、十代で両親と死別し、寂しく厳しい環境の中で学問に生きようと志を立てたのが、十五歳の頃です。三十歳になり自分の学問の基礎ができあがって、やっていく目途が立ちます。学問を志してから十余年。研鑽を積んだことが窺えます。

四十歳で物事の道理を理解し、判断に迷うことがなくなります。

五十歳で天命を理解し、険しい道は続きますが、確実に実績を上げていきます。

六十歳は円熟期、人の言葉を素直に聞けるようになります。

七十歳は究極の境地、自分の思うままに行動をしても道理から外れなくなります。

『論語』が好きで、実践したいと思う私ではありますが、現在四十一歳の不惑の年齢でありながらも、実際は日々結構惑っております。ちょっと先の話ではありますが、次の大台は五十歳。人は皆、何かしらの使命を持ってこの世に生まれてきます。それが天からの使命、天命です。天命を知ったなら、その達成のために力を尽くすのが人生ということになります。五十歳のときには、天命をわかまえることができるように、物事の本質を見極める努力をしていきたいです。

平成27年6月～平成28年5月の三共済の実績と
小規模企業共済制度創設50周年記念事業の結果
～北海道会初!!! 三共済全目標達成～

TKC北海道会会員の皆様、日頃は三共済の推進にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

先日、全国会より前期の三共済の挙績結果が以下の通り発表されました。

昨年は、北海道会として初めて小規模企業共済の件数目標を達成できましたが、今年はなんと全国会からおりてきている三共済制度に関するすべての目標を達成(それも結構上位の順位で)することができました。

7月の全国会委員会では、9項目あった上位入賞表彰のうち5項目で名前を呼ばれ表彰されました。これもひとえに会員の皆様のおかげと感謝申し上げる次第です。今回は前回の3倍近い表彰金をいただけますので、秋からのキャンペーンで皆様に還元したいと考えております。

また、前期は小規模企業共済を5件以上推進したTKC会員に、(独)中小企業基盤整備機構より楯を贈呈していただける小規模企業共済制度創設50周年記念事業がありましたが、その表彰会員も以下の通り発表されました。

北海道会では、プラチナ賞1名、シルバー賞15名、ブロンズ賞33名の合計49名が該当されました。該当された会員の皆様、おめでとうございます。また、たくさん推進いただき、ありがとうございました。楯は、9月に開催されるTKC北海道会総会のどこかで贈呈したいと思っております。

当委員会は今期も会員の皆様のお役に立つ情報を随時発信してまいりますので、これからも三共済の推進をよろしくお願いいたします。

共済制度等推進委員会 委員長 佐々木 雅敏

●平成27年度(27年6月～28年5月)

小規模企業共済 推進状況 (28年05月確定版)

1.件数

順位	地域会	①目標	②実績	③前年同月	達成率(%)	伸率(%)	伸率順位
					②÷①	②÷③	
1	北陸会	442	976	740	220.8%	131.9%	4
2	東北会	887	1,462	979	164.8%	149.3%	1
3	四国会	373	598	451	160.3%	132.6%	3
4	千葉会	523	744	584	142.3%	127.4%	6
5	静岡会	633	886	816	140.0%	108.6%	17
6	城北東京会	400	546	385	136.5%	141.8%	2
7	近畿京滋会	494	612	585	123.9%	104.6%	20
8	近畿大阪会	755	902	802	119.5%	112.5%	12
9	中部会	1,522	1,810	1,619	118.9%	111.8%	14
10	北海道会	639	741	608	116.0%	121.9%	8
11	九州会	1,411	1,539	1,296	109.1%	118.8%	10
12	中国会	1,002	1,075	991	107.3%	108.5%	18
13	神奈川会	689	689	647	100.0%	106.5%	19
14	西東京山梨会	558	548	475	98.2%	115.4%	11
15	東・東京会	505	489	398	96.8%	122.9%	7
16	関東信越会	2,380	2,203	2,003	92.6%	110.0%	16
17	近畿兵庫会	612	556	495	90.8%	112.3%	13
18	南近畿会	771	685	575	88.8%	119.1%	9
19	東京都心会	630	544	422	86.3%	128.9%	5
20	東京中央会	774	445	404	57.5%	110.1%	15
	合計	16,000	18,057	15,277	112.9%	118.2%	

2.参加会員数

順位	地域会	①目標	②実績	③前年同月	達成率(%)	伸率(%)	伸率順位
					②÷①	②÷③	
1	北陸会	111	157	146	141.4%	107.5%	4
2	四国会	93	120	114	129.0%	105.3%	8
3	静岡会	158	200	194	126.6%	103.1%	14
4	東北会	222	238	224	107.2%	106.3%	5
5	中部会	380	402	386	105.8%	104.1%	13
6	西東京山梨会	140	148	141	105.7%	105.0%	9
7	北海道会	160	165	142	103.1%	116.2%	1
8	近畿大阪会	189	194	192	102.6%	101.0%	17
9	神奈川会	172	173	165	100.6%	104.8%	10
10	九州会	353	348	341	98.6%	102.1%	15
11	近畿京滋会	124	114	117	91.9%	97.4%	19
12	中国会	251	229	225	91.2%	101.8%	16
13	近畿兵庫会	153	139	132	90.8%	105.3%	7
14	南近畿会	193	175	186	90.7%	94.1%	20
15	城北東京会	100	89	90	89.0%	98.9%	18
16	東・東京会	126	108	100	85.7%	108.0%	3
17	関東信越会	593	507	486	85.5%	104.3%	12
18	千葉会	131	111	106	84.7%	104.7%	11
19	東京都心会	157	116	110	73.9%	105.5%	6
20	東京中心会	194	131	114	67.5%	114.9%	2
	合計	4,000	3,865	3,712	96.6%	104.1%	

eひと・eはなし 「自己を語る」



札幌西支部

林 俊一

Toshikazu Hayashi

私の出身地は道南の北斗市(旧大野町)で、北海道における水田発祥の地という場所で生まれました。農家の長男坊として小学生の頃は、よく手伝いをさせられ、子供心にいやだった思い出があります。高校は農業とは全く縁のない水産高校に入学し、水産経営、水産製造などを学び、職業高校ならではの楽しい経験を積みました。

就職は、同級生のほとんどは漁業あるいは水産関連の会社に入るケースが多かったのですが、なぜか公務員試験を受けて、偶然に合格してしまい税務の世界に飛び込むことになりました。

農家出身でありながら農業高校ではなく水産高校に入学し、水産関連の会社に就職すると思いきや公務員になるなど、ここまでは一貫性のない人生を歩みました。

税務の世界に入り、42年間勤めましたので、ここで何とか我慢の人生を歩んできたのかなと考えております。

税務署では主に法人税畑を歩んできて、その中でも大法人の調査を担当する調査課というところの勤務が10年ほどありました。

特に、超大規模法人の調査を担当する部署が長かったこともあり、そこで、仕事を通じて企業の経済取引の実態を学ぶことができ、貴重な経験をしたと思っています。

また、一年間だけです国税を退職し、預金保険機構というところに勤務し、機構の仕事の中身、整理回収機構(RCC)との関係や警察、検察、裁判所出身の職員と一緒に仕事を通じて知り合えたことなど、非常に有意義な経験をさせていただきました。

縁あって新入会員となりました。

どうぞこれからもよろしくお願いします。

倒産防止共済 推進状況 (28年05月確定版)

1.件数

順 位	地域会	①目標	②実績	③前年同月	達成率(%)	伸率(%)	伸率順位
					②÷①	②÷③	
1	北陸会	332	641	602	193.1%	106.5%	12
2	四国会	280	514	444	183.6%	115.8%	2
3	東北会	665	1,021	947	153.5%	107.8%	9
4	静岡会	475	642	577	135.2%	111.3%	7
5	北海道会	479	642	559	134.0%	114.8%	3
6	九州会	1,058	1,234	1,185	116.6%	104.1%	14
7	千葉会	392	440	395	112.2%	111.4%	6
8	中国会	752	822	791	109.3%	103.9%	15
9	中部会	1,141	1,166	1,086	102.2%	107.4%	10
10	神奈川会	516	497	502	96.3%	99.0%	17
11	西東京山梨会	419	402	413	95.9%	97.3%	18
12	関東信越会	1,785	1,705	1,565	95.5%	108.9%	8
13	近畿兵庫会	459	422	374	91.9%	112.8%	5
14	近畿京滋会	371	339	383	91.4%	88.5%	20
15	城北東京会	300	269	255	89.7%	105.5%	13
16	東京都心会	472	416	401	88.1%	103.7%	16
17	近畿大阪会	566	453	482	80.0%	94.0%	19
18	東・東京会	379	296	253	78.1%	117.0%	1
19	東京中央会	581	453	423	78.0%	107.1%	11
20	南近畿会	578	389	342	67.3%	113.7%	4
	合計	12,000	12,802	12,009	106.7%	106.6%	

2.参加会員数

順 位	地域会	①目標	②実績	③前年同月	達成率(%)	伸率(%)	伸率順位
					②÷①	②÷③	
1	北陸会	83	141	130	169.9	108.5	3
2	四国会	70	102	102	145.7	100.0	14
3	静岡会	119	163	156	137.0	104.5	10
4	北海道会	120	151	140	125.8	107.9	5
5	東北会	166	202	188	121.7	107.4	6
6	九州会	265	300	291	113.2	103.1	12
7	中国会	188	212	199	112.8	106.5	8
8	中部会	285	320	292	112.3	109.6	2
9	神奈川会	129	140	135	108.5	103.7	11
10	近畿京滋会	93	100	98	107.5	102.0	13
11	西東京山梨会	105	112	119	106.7	94.1	20
12	近畿大阪会	141	143	149	101.4	96.0	19
13	城北東京会	75	74	77	98.7	96.1	18
14	関東信越会	446	431	403	96.6	106.9	7
15	近畿兵庫会	115	109	112	94.8	97.3	17
16	南近畿会	144	134	137	93.1	97.8	15
17	千葉会	98	91	87	92.9	104.6	9
18	東京都心会	118	109	101	92.4	107.9	4
19	東・東京会	95	77	79	81.1	97.5	16
20	東京中央会	145	112	93	77.2	120.4	1
	合計	3,000	3,224	3,089	107.5	104.4	

中退共制度 推進状況 (28年05月確定版)

1.件数

順 位	地域会	①目標	②実績	③前年同月	達成率(%)	伸率(%)	伸率順位
					②÷①	②÷③	
1	北陸会	30	64	67	213.3%	95.5	15
2	東北会	61	96	85	157.4%	112.9	10
3	四国会	26	38	21	146.2%	181.0	2
4	北海道会	44	57	44	129.5%	129.5	5
5	静岡会	44	49	52	111.4%	94.2	16
6	中国会	69	75	60	108.7%	125.0	6
7	城北東京会	27	28	33	103.7%	84.8	17
8	近畿兵庫会	42	41	29	97.6%	141.4	3
9	関東信越会	164	158	130	96.3%	121.5	8
10	近畿京滋会	34	32	17	94.1%	188.2	1
11	千葉会	36	33	29	91.7%	113.8	9
12	九州会	97	85	83	87.6%	102.4	13
13	神奈川会	47	39	38	83.0%	102.6	12
14	中部会	105	83	104	79.0%	79.8	19
15	東・東京会	35	27	22	77.1%	122.7	7
16	近畿大阪会	52	39	29	75.0%	134.5	4
17	西東京山梨会	38	28	33	73.7%	84.8	18
18	南近畿会	53	38	48	71.7%	79.2	20
19	東京都心会	43	30	30	69.8%	100.0	14
20	東京中央会	53	21	19	39.6%	110.5	11
	合計	1,100	1,061	973	96.5%	109.0	

TKC北海道会 表彰会員

小規模企業共済制度創設50周年を迎えたことを記念し、(独)中小企業基盤整備機構殿よりTKC会員を対象とした記念事業が実施されました(H27.6月～H28.5月)。当事業において優秀な成績を収められた表彰会員をご報告いたします。

プラチナ表彰(新規・増額50件以上) シルバー表彰(新規・増額10件以上)-----

- ・福田 紀二 釧路支部
- ・佐々木俊幸 札幌東支部
- ・小平 康夫 札幌東支部
- ・中川 一俊 札幌東支部
- ・山美 幹生 札幌東支部
- ・佐藤 伸泰 札幌東支部
- ・庵原 宏章 札幌東支部
- ・出口 秀樹 札幌東支部
- ・常見 菊雄 札幌西支部
- ・堀内鶴次郎 札幌西支部
- ・東 岳夫 札幌西支部
- ・亀山 泰幸 空知支部
- ・金谷 博光 旭川支部
- ・蝦名 朗太 稚内支部
- ・松井 静夫 稚内支部
- ・駒井 桂伺 苫小牧支部

ブロンズ表彰(新規・増額5件以上) -----

- ・加藤恵一郎 札幌東支部
- ・木村 聡 空知支部
- ・池脇 昭二 札幌西支部
- ・鈴木 啓一 苫小牧支部
- ・西谷 裕幸 函館支部
- ・南 昇 札幌東支部
- ・河合 敏 帯広支部
- ・遠藤 成紀 札幌西支部
- ・藤田 時人 札幌東支部
- ・谷 勳 空知支部
- ・柳川 英樹 札幌東支部
- ・高津 正志 帯広支部
- ・蛭子井眞市 函館支部
- ・丸山 昭一 札幌東支部
- ・椿谷 浩一 北見支部
- ・坂本 文彦 札幌東支部
- ・柴山 徳雄 苫小牧支部
- ・鎌田 直善 函館支部
- ・松本 剛明 札幌東支部
- ・田中 聡 帯広支部
- ・大沼 宏 札幌西支部
- ・本間 貴久 札幌東支部
- ・藤田 伸一 北見支部
- ・星田 英治 札幌西支部
- ・横田 英喜 釧路支部
- ・蝦名 和広 札幌西支部
- ・川股 修二 札幌東支部
- ・後藤 政則 帯広支部
- ・山谷 謙太 札幌西支部
- ・湯谷 和彦 苫小牧支部
- ・細川 拓厚 函館支部
- ・成田 敦哉 札幌東支部
- ・大石 喜幸 釧路支部

平成28年 書面添付実践件数(平成28年7月末日現在)

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	平成28年実績		
			1～6月	7月	合計
1	札幌東支部	五十嵐 勝義	64	13	77
2		市川 善明	22	2	24
3		井上 晋一			0
4		庵原 宏章			0
5		岩本 敏美	11	3	14
6		小田川 繁	8	2	10
7		梶原 宏			0
8		加藤 恵一郎	152	7	159
9		金子 雅行	5	1	6
10		金坂 和正	16		16
11		川股 修二	61	6	67
12		小平 康夫	28	2	30
13		斎藤 雅昭	9		9
14		佐々木 忠則	137	9	146
15		佐々木 俊幸	1	1	2
16		佐々木 幸徳	40	9	49
17		佐藤 俊一	7	1	8
18		佐藤 伸泰	51	5	56
19		下坂 登	2		2
20		清宮 純	57	3	60
21		田中 慎也			0
22		千葉 寛樹	70	5	75
23		塚田 修治	49	2	51
24		出口 秀樹	38	5	43
25		寺田 勉	57	1	58
26		中川 一俊	20	2	22
27		中川 信喜	31	4	35
28		名越 隆雄	1		1
29		原 幸四郎	49	4	53
30		藤崎 登喜雄	9		9
31		藤田 時人	59	5	64
32		本間 貴久	63	5	68
33		本間 崇	1	1	2
34		宮下 直樹	12	3	15
35		森下 浩	14		14
36		八島 依子	6		6
37		山美 幹生	26	1	27
38		横山 知明			0
39		吉川 直宏	3		3
40		米澤 篤志	5	1	6

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	平成28年実績		
			1～6月	7月	合計
41	札幌西支部	阿部 真澄	14	7	21
42		國分 敬祐	2		2
43		伊東 幹世	0		0
44		上原 貢	13	1	14
45		遠藤 成紀	83	13	96
46		大沼 宏	4		4
47		岡崎 克明			0
48		岡崎 正毅	8	1	9
49		岡村 圭介			0
50		小川 裕也	8		8
51		川端 忠範	10		10
52		小中 昌幸	16	3	19
53		杉村 弘幸	3		3
54		砂野 隆英	14		14
55		高野 一夫			0
56		竹中 正美	20	3	23
57		田中 裕之	69	7	76
58		藤堂 愛子	4		4
59		西野尾 嘉拓			0
60		八森 恵一			0
61		平田 清悦	23	1	24
62		堀内 鶴次郎	19	3	22
63		三上 勝美			0
64		宮崎 知行	10	1	11
65		村西 逸郎		1	1
66		茂木 賢治			0
67		森下 敏美	9	3	12
68		山崎 瑞枝	2		2
69		山田 めぐみ	3		3
70		山谷 謙太	47	8	55
71	小樽支部	足立 竹秀	5		5
72		澤田 忠宏	28	4	32
73		西 正則	3	1	4
74	函館支部	奥山 昌弘	13	1	14
75		鎌田 直善	18	4	22
76		北川 勝弘	15	3	18
77		後閑 慶子	3	1	4
78		千田 浩文	4	1	5
79		蛭子井 眞市	12	1	13
80		細川 拡厚	17	1	18

平成28年 書面添付実践件数(平成28年7月末日現在)

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	平成28年実績		
			1～6月	7月	合計
81	函館支部	松山高治	15	1	16
82	空知支部	大林 強			0
83		木村 聡	28	4	32
84		斎藤 恵美子	31	5	36
85		坂本 和繁	23	4	27
86		谷 勳	17	1	18
87		鳴海 敏郎			0
88		久井 恵			0
89		八幡 吉宣	18	2	20
90	旭川支部	青柳 順也	3		3
91		薄井 博	6		6
92		尾田 利雄	33	5	38
93		加藤 一博			0
94		金谷 博光	63	1	64
95		坂本 英志			0
96		佐藤 弘道	2		2
97		舟橋 馨	2	2	4
98		渡辺 祐吉	40	3	43
99	稚内支部	松井 静夫	9	1	10
100	北見支部	井山 等	10		10
101		南都 正弘	0		0
102	帯広支部	井上 理	11		11
103		河合 敏	76	8	84
104		清原 征治	71	7	78
105		白岩 征之	69	6	75
106		砂原 政広	13	1	14
107		谷本 倍規	86	4	90
108		中井 宏	38	4	42
109		干場 慎也	4		4
110		松田 孝志	3		3
111	釧路支部	甲賀 伸彦	76	7	83
112		高津 直人			0
113		近藤 康範	26		26
114	苫小牧支部	鈴木 圭介	22		22
115		猪股 冬樹	9	2	11
116		駒井 桂伺	19	1	20
117		佐藤 俊生	7	1	8
118		柴山 徳雄	9		9
119		多田 伸一			0
120		田村 耕一	25		25

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	平成28年実績		
			1～6月	7月	合計
121	苫小牧支部	湯谷 和彦	49	2	51
122		小林 史郎			0

※公表に同意をいただいた会員のみ掲載しています。
※掲載は、随時TKC北海道会事務局にて受け付けています。
※書面添付実践件数は、TKC全国会の選考基準に基づいた件数です。
※実績は法人・個人合算しています。

書面添付推進委員会からのお知らせ

平成28年8月10日(水)に、ニューオータニイン札幌において書面添付フォーラム2016を開催しました。

第1部として札幌国税局課税第一部課税総括課の小助川伸矢課長補佐および課税第二部法人課税課橋立庄平課長補佐より、「書面添付の状況と意見聴取制度の現状」と題してご講演いただき、書面添付制度と聴取制度の現状について大変わかりやすく解説いただきました。その後、青木正会員(TKC東北会宮城県支部)から「自計化+月次サービス。今こそ『決算書』の信頼性向上を図ろう!」～全ての自計化関与先に書面添付実践を～と題して、ご自身の事務所の状況を交えながらご講演していただきました。

第2部では、参加者がグループに分かれ、「書面添付と事務所経営」というテーマでテーブルディスカッションが行われ活発な意見交換が行われました。

参加者の声

- 今回初めて参加しましたが、他の事務所の方達の書面添付作成の為に毎月の巡回の際に取り組んでいる事や決算作成時の取り組みはとても勉強になりました。
- ディスカッションは大変勉強になったので、また行ってほしい。
- 今後もこのフォーラムを毎年続けてもらいたい。



ご参加ありがとうございました。



支部例会・研修会だより

FROM OTARU, HAKODATE, ASAHIKAWA, SAPPORO HIGASHI/NISHI



小樽
支部

7月30日(土)小樽支部総会と潮まつり

去る7月30日(土)、「町の寿司」において第42回定期総会が開催されました。

北海道会からは加藤恵一郎会長をはじめ田中裕之副会長、(株)TKCからは前田稔センター長、肥田木知夏センター長代理、大同生命から中川稔社長、中島佑課長、積水ハウス(株)からは柳谷秀人課長と花坂菜美さんが来賓として参列してくださいました。

議事は西正則支部長が議長となり、1号議案「平成27年度事業報告および収支決算書承認の件」、2号議案「平成28年度事業計画(案)および収支予算(案)承認の件」、どちらも異議なく承認され、無事終了しました。

この後、懇親会を経て今回で50回目となる小樽潮まつりの



潮ねりこみ(踊り)に、TKC北海道会小樽支部として支部会員のほか、道会役員、その他有志会員や家族、提携企業からの協力をいただき参加しました。

特に今回は、東京から大同生命の森中哉也常務も潮ねりこみ参加のために駆けつけてくださり総勢35名となりました。

潮ねりこみが始まると、最初こそは踊りもぎこちなく、元気ありませんでしたが、次第に熱が入るに従い踊りも様になり、「TKC北海道!」とかけ声を掛けながら、全員無事全行程を踊りきる事ができました。

踊りの後は会場を変えてお待ちかねの打ち上げ会を盛大に開催し懇親を深めました。

偶然にも当日7月30日は、加藤会長の57回目の誕生日だったため、サプライズケーキを用意して全員で「ハッピーバースデー」の大合唱でお祝いさせていただき、大いに盛り上がりました。

TKC北海道会小樽支部としての潮ねりこみ参加は今回で5回目となりますが、今回の参加をもって一応の一区切りとする事にいたしました。

これまでに参加いただいた道会役員をはじめ、その他の有志会員の皆様、提携企業の皆様にはこの場を借りまして改めて御礼申し上げます。

(小樽支部 西 正則)



函館
支部

6月23日(木)支部例会・研修会

早くも年半ばとなりました。

ロワジュールホテル函館において、13時30分から北海道経営改善支援センターから北嶋賢一センター長を講師にお迎えし、「認定支援機関による経営改善計画策定支援事業による研修会」が開催されました。

制度利用件数の概況説明によりますと、制度発足当初の利用件数見込には到達していないものの、北海道での利用件数は伸びているとのことです。今回研修では利用申請書記載上の注意、モニタリングも含めて費用支払申請書の記載例等につき、ご講義いただきました。

当支部は小規模であるため、TKCの研修会も開催回数を見れば、オンデマンドの比率がどうしても高くなりがちです。講師

の姿かたちを拝見し、直接警咳に接することができるのはありがたいことです。

研修会終了後、同ホテル内で、6月の支部例会が開催されました。支部長挨拶、各委員会活動報告、北海道会報告、SCG報告、大同生命報告と、いつもどおりに進行了。会員フリートークでは、FinTechが主要テーマとなっているのに目を瞠る感じです。

電子申告導入時に混乱したように、FinTechの導入にも混乱は生じるであろうけれど、避けては通れない、というのが共通認識であり、実務的には様子見が主流でした。

(函館支部 鎌田 ふくみ)



旭川
支部

第44回定期総会と第1回支部例会を開催

8月2日(火)、旭川グランドホテルにおいて、第44回旭川支部定期総会が開催されました。支部会員19名が出席(委任状15名)し、ご来賓として北海道会から斎藤雅昭副会長にお越しいただき、島田康弘副支部長の司会により、支部長あいさつ、総会成立報告の後、議長に鈴木富士夫会員が選出され、議事録署名人に實吉孝範会員が指名され、議案審議に入りました。

第1号議案「平成27年度事業報告ならびに収支決算承認に関する件」「監査報告」、第2号議案「平成28年度事業計画ならびに収支予算承認に関する件」につきまして、若干の質疑等はありませんでしたが、満場一致で承認されました。



引き続き、第1回目の支部例会を行い、斎藤副会長から第43回全国役員大会等の報告をいただきました。各委員会報告では、書面添付推進委員会から、8月10日に開催される「書面添付フォーラム2016」の出席方について、また企業防衛制度推進委員会から、9月に研修会等が行われることなどの報告がありました。支部長からは、9月21日に岩見沢で開催される「第40回秋季大学」の出席方について説明があり、提携企業からの報告を受け、支部例会を終了いたしました。

会場を移し、ご来賓15名に懇親会にご臨席いただき、盛会裏に終了いたしました。(旭川支部 舟橋 馨)



札幌東西
支部

6月15日(水)支部例会・研修会

去る6月15日にTKC北海道研修センターにおいて、札幌東・西支部の合同研修会が開催されました。砂野隆英副支部長の司会のもと、藤本康男札幌東支部長のあいさつの後、研修会が始まりました。

第一部は「巡回監査支援システムと巡回監査について」と題して、税理士法人田中会計事務所の稲田恭祐さんよりお話がありました。巡回監査支援システムの活用は当然に巡回監査のためのシステムでもあるが、書面添付へもつながるし、また、人を育てる最適なシステムであるとの説明があり、これからのより有効な会員への活用を促すようなお話でした。

第二部は「私が書面添付でやっていること」と題して、税理士法人すずらん会計の山谷謙太会員からお話がありました。

当初は積極的ではなかった山谷会員ですが、書面添付のパネルディスカッションをきっかけに“やる宣言”をしてしまったことから取り組みを始めたとのことです。そうしてやってみてわかったことは、「計算し、整理した事項」はまずB/S科目の説明をすることによって、これによってスタッフの仕事の状況が確認できるということに改めて気付かされたということでした。今、現状としては「数やって質を上げる」ということが課題であるとお話されていました。

その後の懇親会、いつもと雰囲気を変え場所を焼肉レストラン「北海道焼肉プライム」へ移し、にぎやかに開催されました。参加者のその後の夜はまた長かったことでしょう。

(札幌東支部 坂本文彦)



税理士 谷 勳 会員 空知支部

誠実にお客様に向かうは、 太陽に向き合うひまわりのように

今回は、岩見沢市で事務所を開業されている谷勳会員を訪問しました。平成26年に新築されたその事務所は、春は桜、夏はひまわりと太陽、秋はりんご、そして冬はどか雪と四季を感じられる素敵な場所で、たくさんのお話を伺ってきました。



1. 谷勳会員の生い立ち

旧栗沢町岐阜出身の谷勳会員。ルーツは富山県中新川郡(現滑川市)。その生い立ちから語っていただきました。

「自作農を営んでいた4代目であった父は、日露戦争で相当の手柄を立てたにも拘らず、『金鷄勲章』をもらえなかった。そのことがよほど悔しかったのか、自作農であったその土地を手放してまでの北海道行きでした。明治40年のことです」。

また、こんな話もされていました。

「私は事情があって父親59歳、母親35歳の時の子どもでしたが、自分自身も、それから自分の息子たちも結婚が早く、現在小学生になるひ孫がおります。そういう意味では父との59年差を少しは縮められたのかと思います。(谷家は)父親が4代目でその長男が5代目、長男のところに男子がいなかったため、私が6代目……ということで現在そのひ孫が9代目ということになります。私は、父母が明治時代に来道しているのにもかかわらず、『道産子二世』なのです」。

2. 税理士を志すきっかけ

高齢のご両親が水田を耕作していましたが、家計の状況は決して楽ではなく高校に進学できたのは不思議なくらいであったとのこと。高校進学後は駅までの3キロの道のりと栗沢から岩見沢までの高校へ通う毎日。夏は自転車でしたが、冬の駅までの徒歩はさぞかし大変だったでしょう。

卒業後の進路は大学進学をあきらめ、水田農家を継ぐ道もあったのですが、ちょうど農業は機械化の過渡期、耕作面積からその道は無理と判断したようです。そこで、「合格すると必ず採用になるということと、勉強は好きではなかったけれど、少しはしなければならないかと考えており、給料(初任給は7,040円)をもらいながら1年間勉強ができると、そんなことから『税務職』に決めました」。

このことが40年後税理士になることにつながったそうです。

一税務署にお勤めになってからは道内を転々とされたのですかー
「それがそうでもないのです。昭和36年に岩見沢に赴任しました。そのあと昭和38年に当時の石狩管内の多くを管轄していた石狩税務署に異動するのと時を同じくして、北海学園大学の2部に通学するようになりました。当初は栗沢から通っていたのですが、さすがにきつくなって、岩見沢市上幌向に住まいを移しました。それから昭和59年に稚内税務署に統括で赴任するまで、21年間札幌の中でした。稚内、旭川、滝川と4年間の単身赴任を経て、再び、札幌国税局の調査課へ戻ってきました。そのあとは税務大学校の本科の教授、国税局事務管理課長、国税不服審判所国税審判官、北見税務署長、税務大学校研修所長、札幌東税務署長、そして最後は札幌西税務署長でした」。

法人畑を主に歩いてこられた谷会員。札幌国税局の調査課の時は特官部門で主に資本が40億円以上の企業を担当されており、そんな時代の苦労話もされていました。

3. TKC入会のこと

一税理士登録をされてからの話を聞かせてくださいー

「平成12年の7月に40年3か月の税務署勤務を終えて、8月58歳の時に登録しました。当初は札幌西支部の事務所に勤める予定でした。しかし、事情が変わって、急きょ自宅事務所での開業となりました。そのあとも札幌の税理士先生からお声をかけていただきましたが、そうしているうちに平成13年3月に歴史ある望月武義事務所の3代目として、継承させていただきました」。

既にその事務所にはTKCシステムが導入されていたため、谷会員自身も4月に入会したということです。

併せて、現職時代のTKCとの関わりを、こうお話しされました。
「私は昭和35年から国税に勤めております。石狩税務署にいた昭和38年ごろに飯塚事件が起きました。国税の内部の広報などでその推移を見聞していました。映画化された『不撓不屈』とはまた違った側面を充分見せてもらいました」。
また、承継された事務所から現在の事務所に至るまでに

ついて、こうおっしゃっています。

「当時は岩見沢市内の北海道銀行が入っているビルの3階にありました。駐車場が一台もないということで、2丁ほど離れたところへ引っ越したのですが、駐車場の雪事情があまりよくないため、もともと、畑をやっていた現在の場所へ、後継者もないのに事務所を建てちゃったということです」。

この一件が、もともとは考えられていたところではあったでしょうが、本格的に事務所承継について考えることとなったのではないのでしょうか。

4. 事務所承継、事務所経営について

一事務所の承継について聞かせてくださいー

「今月私は75歳になります。現在関与先が法人個人合わせて300件超、職員が13名プラス私と山田和訓先生で15名体制であります。この現体制と自分の年齢を考えると、しっかり事業継承しなければなりません。そういうことで、その山田先生とともに来年の1月に税理士法人へ移行する予定となっています。雲の上の存在である望月先生の事務所を引き継いでいるので、名称は個人名を付すものとはせずに、ずっとやっていけたらなあと考えています。今、考えている名称は税理士法人ひまわりです。そのようなこともあって、昨年くらいからひまわりを植えているのです」。

見事なひまわりが畑の他の作物とともにその姿を見せていました。

一山田先生とはどういうきっかけでー

「統一研修会の時に何名かの国税OBに“平成29年1月から税理士法人にしたいと思っているのだけど誰か一緒にやってくれないか”と声をかけたところ、自宅が幌向(隣の駅)であったこともご縁で30分で話が決まったのです」。

一事務所経営において大事にされていることはどういうことですかー

「税務大学校の教授をやっていたときから、誠実であることが大事であると話してきました。誠意をもって事にあたるときといい道が拓けると考えており、普段から信条としています」。

「また、職員には“みんな仲よくいい仕事をしよう”と呼びかけています。その一環として、月初めの午前中は研修時間にあてています。その内容としては、およそそれぞれ一時間ずつで事務連絡会議という全体会議、『TKCたいむ』というTKCとの意見交換会、それから企業防衛推進会議の三つを実施しています。研修漬けです。あと、中旬の月曜日には課長以上が参加する月曜会、リスマネの推進会議なども開催しています」。

「職員の共通体験ということでは、確定申告終わりに一泊旅行を開催しています。みんな、自動車通勤ということで、普

段なかなか飲めないの、泊りがけで飲みに行くようなものです。それから、これとは別に10月くらいに国内外に3、4日の行程で事務所旅行を実施しています。今年は姫路城の旅行を申し込んだのですが、人数の関係で実施されるかどうか?」。

誠実に向き合い、共通体験と研修を重点としていることが事務所経営の核になっていると感じられました。そんな話をしている中で谷会員の旅行好きな一面が垣間見えたところで。

5. 趣味

一ホームページを拝見する限り、旅行がお好きなのは?ー

「日本ではツアーというよりも自分の車で道の駅で寝泊まりして回っています。ホテルなどは予約せずに好きなところまで走っていくという旅です。行き帰りのフェリー以外は予約なしです」。

そんな旅ですから、こういうことがありました。喜多方の道の駅で朝、顔を洗っていたら、なんと山田先生にばったり会ったこともありました。あと海外は、今年ちょっとヨーロッパ5か国を巡ってきました。これでやっと29か国になりました。75歳までにとまって回っていました」。

南極大陸以外は回られたようです。ちなみに最低80万円くらいだそうです。興味は持ってらっしゃるのですね。

一他に趣味はございますかー

「若いころは登山をしていました。登山好きが高じて、ニセコに土地を購入した程です。ただ、実況検分したところ入っていくことができない沢地でした。完全に騙されたみたいなんです」。

一山はどのくらい登ってらっしゃるのですかー

「北海道の主な山は登りました。本格的には高校生の時と勤めてからは独身の時で一年に20回くらい登ったでしょう」。

ここで何か思い出されたのか、その昔の話をされました。

「昭和36年の8月19日なんですけれど、高校の先輩が昭和32年の1月に旭岳で遭難して行方不明になったのです。その後、毎年捜索に行ってたのです。その36年の雪のすぐ溶けた年、たまたま、その山に入っていた北電の電源開発の人が“馬の骨を見つけた”とんで馬の骨なんだと思っていたら人間の骨だった。そこから沢づたいに行くのと点々とナップザックやザイル、カメラがあって、白骨化した頭蓋骨があったという感じで見つけたんです。20日が日曜日ということでしたから、今日で終わりという日だったんです」とはいえ、それからもしばらくは山登りから離れなくなったものの、週休二日制ではなかったことや大学へ通うようになったころからは、体力的にきつくなって、温泉巡り、窯元巡り(ぐい呑み収集)、道の駅巡り、カントリーサイン探しなどに変わっていったそうです。

6. KFSについて

ガラッと話題は変わって、KFSについてお話をお伺いしました。先日、『戦略経営者』の取材があり17万の読者にその活用事例が紹介され、その法人ともども大変喜んでいただけたこと。KFSの中で特に重要視されているのは『F』であると。

「KFSについては自計化が一番。『K』および『S』の分母の拡大につながるのだから大切に思っています。FX4は6社に導入しています。戦略経営者にも紹介（平成28年4月号）されています」

とTKCから送られてきていた写真を見せてくれました。そして、その場に同席していた、事務長の佐藤明彦さんにその法人のFX4導入の経緯をお話いただきました。

「土木工事業の法人なのですが、もともとは地元ITベンダーが作成した自社システムを使っていたのですが、これが土木関係が主たるシステムでしたので、産廃、介護、運送と多角経営していく中では適さない。2代目の若い経営者がこれから結果を出していくのは部門別に数字を抑えることが重要ということで導入に至ったということです」。

『K』『S』推進の土台というお考えのもと、自計化に一生懸命取り組まれているお二人のお話をお伺いすることができました。

7. 業界の変貌

一紙の時代から電子の時代になりましたがー

「平成10～11年の札幌東税務署長をやったときに個人課税担当の副署長がK大先生（女性・故人）を案内してきたのです。自分の事務所の電子帳簿保存法の第一号の届出をされたとのことで、そんな記憶があります。うちは来年税理士法人になってからでしょうか」。

ー電子帳簿とか銀行信販データ受信機能などの関与先の反応はいかがですかー

「反応はまだまだかとは思いますが。そして、さらに証憑ストレージについては、お客様もわれわれもまだ半信半疑なところがある

取材を終えて

カーナビに住所を入れて、向かったところ上幌向の工業団地へ連れていかれました。（お聞きするとどうもうまく着かないようです。お気を付けください）そんなハプニングから始まりましたので、取材自体がどうなることかとひやひやしましたが、初対面の私を温かく迎え、私の質問に終始なごやかにお答えいただきました。そんな誠実で活発なお人柄が事務所の外に咲くひまわりに象徴されているように感じました。これから北海道会の会員を温かく見守ってください。よろしくお願いいたします。

最後にこの誌面を借りまして、温かく迎えていただいた谷動会員、佐藤事務長ほか職員の皆さまに厚く御礼申し上げます。お土産もいただき、さらにお昼ごはんをいただきながら、会員訪問延長戦にお付き合いいただき、重ねて御礼申し上げます。ありがとうございました。

（札幌東支部 坂本 文彦）

ります。ただ、申告書ほか参考資料などはドキュワークスで管理していますので書類関係は非常にすっきりしていると思います。ドキュワークスは他支部への事務所見学会をした時にこれはいいということで導入しました。ただ、新築した時に棚をたくさん作ったのですけれどかなり余裕があります。余裕があると整理がつけられていない。いい現象が起きていないのです」。

8. 会員の皆さまへ

特に申し上げることはありません。もうしばらく頑張りますのでよろしくお願いいたします。

平成26年6月に事務所を新築しました。カーポートに15台駐車可能です。南側に利根別川が流れ、イタドリが繁茂しています。自然の中、空気がきれいに感じます。北側には、いもを収穫した後に大根を育てています。とうきび、トマトとともに今年もひまわりを植えています。お立ち寄りください。



リレーエッセイ「時・空・人」



南国満喫



札幌西支部

河村 聡子

Satoko Kawamura



私は、TKCに入会して3年目になります。20代の頃は税理士業界とは全く関係のない仕事をしており、有休もたくさんいただける会社に勤務しておりましたので、年に数回まとまった休みを取って旅行を楽しむという、いま思い返すと贅沢な時間を過ごしていたように思います。税理士になると決めた30歳からは、勉強に追われ、実務を覚えるのにもいっぱいいっぱい、なかなか旅行に気持ちが向きませんでしたが、最近やっとTKCシステムにも慣れ始め、今回のお盆休みは久しぶりにゆっくりと夫婦で南国を満喫してきました。行先はモルディブ！

モルディブはインドとスリランカの南西にある島国で、今回滞在した島は30分あれば島一周でできるくらいの大きさで、島にはホテルしかありません。国土のほとんどが海ということもあり、空港から島への移動で初めて水上飛行機に乗りました。パイロットは短パンにビーチサンダルです。ホテルは、一度は泊まってみたかった憧れの水上コテージ♡部屋の下は青い海～。普通にサメやエイが泳いでいます。シュノーケリング中にサメを見かけた時はゾッとしましたが、人馴れして安全のようです。

今回の滞在は、オールインクルーシブ。食べ物も飲み物もいつでも何でもありますが、食べ過ぎたら太っちゃうし、飲み過ぎるほど飲めないし、贅沢な葛藤をしていました。

滞在中は、素敵なバルコニーを満喫したくてシャンパン片手に本を読んできましたが暑すぎてそそくさと部屋の中へ避難。タートルアドベンチャーという名のシュノーケリングに参加しましたが、亀に出会えず。サンセットを見ながら釣りをするツアーに参加しましたが、釣りに夢中でサンセットを見逃し、夢中になっていたわりに1匹も釣れず。それでも、夢のような景色で、のんびりした贅沢な時間を過ごすことができました。

また旅行に行ける日を楽しみに、日々の仕事に感謝しながら頑張ります。次回までには、朝食の卵料理をオーダーする時に卵の半熟具合をもっと細かく注文できるように英語力を磨きたいと思っています。





第4回目の今回は、
わたくしどもの事務所も
担当してくれている
狩野陽一SCGです。
入社2年目の
期待のホープです。



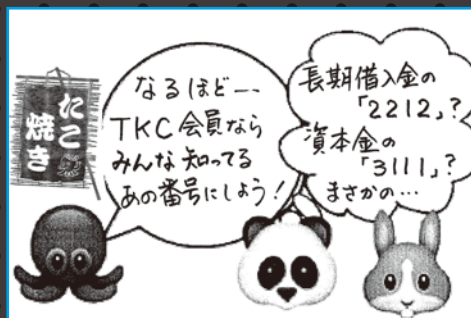
出身	千葉市
出身校	日本大学
趣味	買い物と料理 カレーライスが得意
血液型	O型
星座	てんびん座
愛読書	ワンピース
好きなスポーツ	バスケットボール
好きな女性のタイプ	気が強い人
どんな人と言われる?	室伏広治
失敗談	去年、新入社員の歓迎会に誘って もらった際に飲みすぎてしまい、 入社2週間もたたずに遅刻してしまい 始末書沙汰になった。
会員への メッセージ	お酒が好きなので、 飲みに連れて行って欲しいです。

取り調べを終えて

とても一生懸命にサポートしてくれる狩野さんです。若いのに頼りがいがあります。このまま精進してくればきっと金メダルをとるでしょう!

(やまや)

4けたと言えば(≧▽≦)



(絵:札幌東支部 富山 昇)

★急募 漫画家求む! 広報委員会

新入会員の紹介

NEW MEMBER



なか むら しん た ろう
中村 新太郎 (札幌西)

平成28年8月1日入会
昭和49年6月4日生まれ

事務所住所

〒060-0063 札幌市中央区南3条西13丁目320番地
タキシムハイツ313 3階

税理士法人常見会計

電話 (011)221-1083
FAX (011)271-5048

プロフィール

- 出身地/札幌市
- 前職/会計事務所
- 趣味・特技/ビリヤード・マラソン
- 夢・ひとこと/札幌の中小企業のために尽力します。



やま だ かず のり
山田 和訓 (空知)

平成28年8月2日入会
昭和29年1月12日生まれ

事務所住所

〒069-0365
岩見沢市上幌町1360番地1

谷 勲税理士事務所

電話 (0126)32-6001
FAX (0126)32-6002

プロフィール

- 出身地/帯広市
- 前職/税理士法人中央総合会計北見 社員税理士
- 趣味・特技/ご当地グルメ 食べ・飲み歩き
- 夢・ひとこと/自家用車日本一周
TKCの新入会員です。よろしくお願いします。

お詫び

TKC北海道かいほう第213号において、梅田勇先生(帯広)の事務所名に誤りがありました。深くお詫び申し上げますとともに正しい事務所名を記載いたします。大変失礼いたしました。

正)梅田 勇(帯広) 梅田勇税理士事務所

eひと・eはなし 「真夏の楽しみ」



札幌西支部

近藤 勝美

Masami Kondoh

それは「パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)」です。1990年から始まり、第1回芸術監督であるレナード・バーンスタイン氏の遺志を継ぎ、今年で第27回を迎えたPMF。

毎年、札幌市のみならず、道内外の会場でコンサートを繰り広げています。キタラでスペシャルゲストとともに若さ溢れるオーケストラの演奏を聴くのも良いし、老若男女、各々のスタイルでピクニックコンサートの野外音楽を楽しむのも良い。後者は私のお気に入りです。昼間は帽子が無いと熱中症になりそうほどの暑さ、夕方になると森の中は涼しいどころか寒くなります。毎回、寒暖対策をして臨んでいます。税理士試験を受けていたころは、「風邪をひいてはまずい」と行くのを控えたり、「リフレッシュだ」と理サブノート持参で参加したりと、行ったり行かなかったりしたものです。

今年は久しぶりに家族と行き、PMFも徐々に様変わりしていたことに気がきました。当初午前11時頃開演20時頃終演でしたが、現在は正午から始まり、18時頃には終わります。盛大な花火がフィナーレを飾っていましたが、今は時間も短く花火も無くコンパクトになりました。帰り道の大渋滞も、今はスムーズに流れています。また、露店も焼きそば、お好み焼き、カレーからカフェ風飲み物、タコスへと今時の洒落たものへと変化しています。考えてみると26年も経つのですから当然ですね。これから先も進化しながら札幌の地にずっと続くことを願います。

風に揺らぐ樹木の葉音、鳥の声、雄大なオーケストラとのセッション、自然の中ゆったりと時を過ごす、これが私の真夏の楽しみのひとつです。



編集後記

editor's note

- ◆ 今年も8カ月が終わりました。
- ◆ 今年の夏も暑かったですね。暑がりの私はハンカチを2つ用意していました。
- ◆ いわゆるダブルハンカチでした。
- ◆ ここで一句
- ◆ 「夏の時期 着ていなかった 省エネスーツ」(羽田孜) (戸井)